



平成 27 年 2 月 3 日

各 位

会 社 名 株式会社コロナ
代表者名 代表取締役社長 内田 力
(コード番号 5909 東証第一部)
問合せ先 常務取締役 執行役員 経理部長
兼 広報室担当 及川 良文
(TEL. 0256-32-2111)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

記

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 26 年 5 月 15 日に公表した通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成 27 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 26 年 5 月 15 日発表)	82,000	2,700	3,100	2,100	71 円 59 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	74,700	600	1,100	700	23 円 86 銭
増減額(B-A)	△7,300	△2,100	△2,000	△1,400	—
増減率(%)	△8.9	△77.8	△64.5	△66.7	—
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	80,479	2,531	3,007	1,850	63 円 09 銭

2. 修正の理由

住宅設備機器については、消費税率引き上げ以降の消費者マインド低下の影響が想定以上に長期化し、新設住宅着工戸数が前年を下回って推移する状況のもと苦戦しました。

暖房機器についても、販売強化に努めたものの、例年に比べ 11 月の気温が高めに推移したことによりポータブル石油ストーブが伸び悩んだほか、寒冷地向け大型暖房機等についても消費税率引き上げの影響等から当初計画を下回りました。石油ファンヒーターと遠赤外線電気暖房機については新商品投入や 12 月の寒波到来等により前年を上回りましたが、全体の遅れを挽回するまでには至りませんでした。

これにより、平成 27 年 3 月期の連結業績予想が平成 26 年 5 月 15 日に公表した数値を下回る見込みとなりましたので、上記のとおり修正いたします。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上